

国立大学法人奈良国立大学機構 奈良教育大学は、2022年6月26日（日）、高須幸雄 国連事務総長特別顧問（元国連大使）をお招きし、榊裕之 本機構理事長の参加のもと、SDGsの達成に資するESDのさらなる推進に貢献するナショナル・センターをめざし、今年4月に学内に開設した「ESD・SDGsセンター」の設立を記念したキック・オフイベントを開催しました。

当イベントには、ESD・SDGsに取り組む教職員や研究者、NGO・NPOや企業関係者の外、一般市民、学生など県内外から来場した99名と、Zoomでの視聴90名を合わせた計189名が参加。

設立セレモニーでは、宮下俊也 奈良教育大学学長から、「当センターを、4月に法人統合を行った奈良女子大学と共に、今後、世界のESDを牽引し、SDGsの達成に貢献出来る人材育成及び研究を国際的に推進出来るよう世界的拠点として目指す」との挨拶があり、続いて、岡村直子 文部科学省国際統括官・日本ユネスコ国内委員会事務総長からのビデオレターによる祝辞が紹介され、「大学として日本で初めてユネスコスクールに加盟し、これまでの活動実績を基に設立された当センターへの期待は高い」との激励をいただきました。

セレモニー後は、高須幸雄 氏から『SDGsがめざす世界～持続可能な社会と人間の安全保障』を演題とした記念講演が行われ、「コロナ禍やウクライナ侵攻で最貧人口や乳幼児死亡率などが悪化しており、世界情勢の変化は脆弱な人たちに大きな影響を与え、SDGsの実施が後退している」との内容は、参加いただいた方々の心に強く伝わったものと思われます。また、当センターに対しても「SDGsの実施後退が危惧される中、課題解決に貢献し、国際的に活躍できる人材育成を期待する」とのお言葉をいただき、ナショナル・センターを目指す本学にとって、大変勇気づけられる内容でした。

記念講演後のシンポジウムは「SDGsと教育」をテーマに、「1000年単位の持続性がある奈良の特色を生かした学びを通し、専門性や幅広い教養を備えた『総合知』を持つ人材育成が不可欠だ」など熱のこもった討論が繰り広げられ、会場に集まった参加者は最後まで熱心に耳を傾けていました。

中澤静男 奈良教育大学ESD・SDGsセンター長によるセンター設立趣旨説明



岡村直子 文部科学省国際統括官・日本ユネスコ国内委員会事務総長からのご祝辞



高須幸雄 国連事務総長特別顧問（元国連大使）によるご講演





高須幸雄 国連事務総長特別顧問(元国連大使)、榊裕之 機構理事長、宮下俊也 奈良教育大学学長、及川幸彦 奈良教育大学准教授 (持続可能な開発のための教育 (ESD) 円卓会議議長) によるシンポジウム

